



〈学校教育目標〉
自分とふるさとに誇りをもち、
未来を生き抜く“チカラ”の育成

上関町立上関中学校
学校だより No. 12
令和7年12月4日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>



よい読書習慣を

11月19日（水）～21日（金）に学習委員会の主催で「図書祭り」を開催しました。小学生に向けた本の読み聞かせ、町の図書館の本や教員おすすめの本の展示などを行いました。

小学生に向けた本の読み聞かせでは、学習委員やボランティアの生徒が小学校の朝読書の時間にお邪魔して、自分たちで選んだ絵本の読み聞かせを行いました。中学生はどのように読んだら楽しんでもらえるかを工夫しながら読んでいました。小学生はいろいろな場面でかわりのある中学生からの読み聞かせということもありリラックスした様子で楽しそうに話を聞いていました。上関小中ならではの微笑ましいひと時でした。

教員おすすめの本の展示では、教員一人ひとりの個性が垣間見える本が展示されていることで、子どもたちは興味をもって見ていました。あわせて、町の図書館から本をお借りして展示しました。学習委員が選んだおすすめの本です。学校にない本を目にすることで、本のジャンルが広がったのではないかと思います。

教員の中で生徒の学力について話題になっていることの中に「もっと言葉を知っておくといいね」「もう少し文章が読み取れると力が付くのに」というものがあります。YoutubeなどのSNSに触れることが多い現代だからこそ、読書の楽しさを知り、習慣を身に付けておくことは、これからの社会で子どもたちが自分らしく生きていくために非常に大切だと考えています。

読書を習慣化することで身に付く力と習慣化するための方法を紹介します。

＜読書を習慣化することで身に付く力＞

- ・知識
- ・語彙力や読解力
- ・論理的に考える力
- ・表現力
- ・想像力
- ・コミュニケーション能力

＜読書を習慣化するための方法＞

- ・本に触れる機会を増やす。
- ・興味のある本を読む。
- ・読書をする時間をつくる

今回の取組も本に触れる機会を増やしたり、興味のある本を読んだりするきっかけになると思います。時間に関しては、朝の会の前に読書の時間がありますが、3年生は朝学習の時間にしていたり、行事の準備の時間にあてたりして十分に確保できていない現状があります。寝る前に30分程度読書すると睡眠にもよい効果があるといわれています。月に1冊くらい読書することを目標にして、良い読書週間を身に付けてほしいと思います。



人権教育参観授業・人権教育講演会

11月11日（火）に人権教育参観授業、人権教育講演会を行いました。

＜1年生：高齢者疑似体験＞

次のようなキットをつけて文字を読んだり、書いたり、階段を降りたりなどする活動をしました。

- ・ゴーグル…白内障や視野が狭くなるなどの障害を感じる。
- ・ヘッドホン型耳栓…高齢者特有の聞こえにくさを感じる。
- ・手袋…細かい作業のしにくさを感じる。
- ・おもり…筋力の低下からおこる動作のしづらさを感じる。



この中で高齢者の立場に立って、どのように接すればみんなが暮らしやすくなるかを体験を通して学び、考えることができました。

＜2年生：公平な社会の実現に向けて＞

道徳の教科書にある「迷惑とは何ぞ」というお話をもとにして、「迷惑」ということについて考え、よりよい社会にするために必要なことについて考えました。生徒の感想には「自分に関係ないと思うのではなく、助け合うことが必要だ。」「人に迷惑をかける勇気をもつことも大切だ。」「困っている人がいたら手助けをしたい。」というものがありました。

＜3年生：ハンセン病から学ぶ＞

ハンセン病について知り、そこからみんなが幸せに生きるために自分たちができることについて考えました。この授業は副担任の亀井が行いました。亀井は夏休み中に県の事業でハンセン病の療養施設である長島愛生園を訪問し、ハンセン病について学び、入所者の方とお話をしました。そこで学んだことを子どもたちに伝えたいと思い、今回の授業を計画しました。生徒の意見には「本当かわからないうさを信じない。」「うさを広めない。」「正しい情報を知ろうとする。」というものがあり、実生活に生かせる学びになっていたと感じました。

＜2組：だれを先に乗せる？＞

車で通勤していたサラリーマンが山道で故障したバスに出会うお話。先を急ぐ乗客のうち、誰を先に乗せるのかを動画を見ながら考えました。相手の話を聞いてそれぞれの立場に立って判断することの大切さを学ぶことができました。

＜人権教育講演会＞

今年度は「由宇亭拓の輔（ゆうていたくのすけ）」さんを講師としてお招きし「あなたも大切、私も大切！～「人」を笑顔にする言葉の使い方」という演題でご講演いただきました。まずはじめに、自作の落語をご披露いただきました。後半はそのことも踏まえて、人を大切にする言葉の使い方をユーモアを交えてご講演いただきました。その中で「AU3S」を意識していこうと教えていただきました。

毎月行われる生徒集会で、校長として挑戦してほしいことを生徒に伝えています。11月は人権について考えてほしい思いを込めて、「自分と仲間を大切にする」ということを呼びかけました。拓の輔さんのメッセージも含めて生徒は意識をしていたと思います。これからも自分も仲間も地域も大切にする人であってほしいと思います。

＜12月の主な行事＞

- ・4日（木）生徒会役員選挙
- ・6日（土）上関町車海老祭り（道の駅上関海峡周辺）
- ・9日（火）3年防災学習（室津地区周辺、総合文化センター）
- ・24日（水）上関小中合同終業式
- ・26日（金）～1月4日（日）学校閉庁

「迷惑とは何ぞ」文：三浦綾子

筆者の病氣療養の経験と車いすの青年を描いたもの。ここから「迷惑をかける」ということの意味を考えていく必要がある。人の痛みや重荷に関わる人であってほしい。という筆者の思いが語られている。

